

1. 組織名

一般社団法人全国木材組合連合会

2. 提出意見①

該当する交渉分野

物品市場アクセス

意見

我が国の輸入材関税については、1960年代から大きく引下げが続けられ、今では合板、集成材及び一部製材品等の品目に限られている現状にある。その影響を受けて、輸入材、特に製材品輸入が大きく拡大し国内材の自給率は一時2割を下回るまでに低下した。そして、国産材価格は下落・低迷し、我が国の林業・木材産業は深刻な状況に陥っている。TPP参加国からは多くの木材が輸入されており、関税撤廃等の措置が行われれば輸入材の拡大に拍車をかけ、林業・木材産業の衰退、山村地域の疲弊が進むのみならず、森林整備や木材利用による地球温暖化対策、森林の国土保全等多面的機能の発揮に多大な支障をもたらすことになる。

この点をふまえて、今年4月18日に参議院農林水産委員会、4月19日に衆議院農林水産委員会にて採択されたTPP協定交渉参加に関する決議では「国内の温暖化対策や木材自給率向上のための森林整備に不可欠な合板、製材の関税に最大限に配慮すること」とされている。TPP参加国の中の木材輸出国では自国の木材産業に有利な貿易措置をとっている国もあり、林産物の関税については、引き続き上記決議に即して慎重な取扱をされたい。

※ 同一の交渉分野について、2つ以上意見等を提出される場合は、「提出意見」の行をコピーの上、行を追加願います。

※ 異なる交渉分野について、意見等を提出される場合は、シートを分けて記入・提出願います。